

みんなであそぶ

2010/11/22

里山自然公園

NO2



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会 拡大準備会
連絡先 信太の森FANクラブ 0725-44-8404 Email hanaizm@ares.eonet.ne.jp

「信太山丘陵を守る市民の集い」へ結集を 12月5日(日) 和泉市立信太小学校体育館 午後1:00~4:30 集会終了後 連絡会結成総会

既報の通り、次の要領で市民の集いを開催いたします。

1, 2010年12月5日(日)
午後1:00~4:30

- * タイトル: 信太山丘陵を守る市民の集い
- * サブタイトル: わたしたちが考える里山自然公園
- * 目的: 私たちの考える里山自然公園構想を広め、支持者・支援者の輪を大きくすること
- * 会場: 和泉市立信太小学校 体育館
- * 主催: 信太山に里山自然公園を求める連絡会

2, プログラム

- ① 基調講演: 「信太山丘陵の保全と活用」
石井 実 (府立大学大学院教授)
- ② レポート
 - * 「信太山里山自然公園構想」
(花田茂義・FANクラブ)
 - * 「市財政と信太山丘陵の開発計画」
(小林昌子・和泉市会議員)
 - * 「学校教育と自然」
(本田悦義・信太中学校教諭)
- ③ パネルディスカッション: 質疑・意見交換
コーディネーター 高田直俊(大阪自然環境保全協会会長)

3, 集会終了後 「信太山に里山自然公園を求める連絡会」結成総会

和泉市は、去る9月、「和泉再生プラン」で「北部公共施設」(スポーツ施設)の凍結を解除し、平成25年度より事業を着手すると発表しました。私たちを中心に、“大型スポーツ施設を見直し、信太山丘陵の保全と活用”と呼びかけてきたことに対し、一応、平成23年度、24年度にかけて計画を見直すとしています。

自衛隊と交換した土地は現在開発公社有となっており、民有地を買収時に要した費用は利息を含め20億円となっています。したがって、事業化のためには、市が用地を買い戻し(約20億円)そこに当初計画の50%(12億円)の整備費(建造物)を計上、その75%(約24億円)は市債の発行となっています。

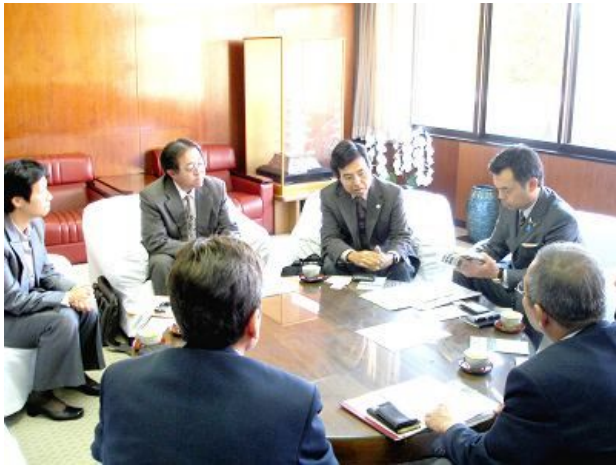
信太山丘陵は、大阪を代表する生物多様性の豊かなところ。その貴重な自然を破壊から守り、「里山自然公園」として保全し活用するよう要望する取り組みは緊急の課題となってきました。

会員をはじめ、多くの市民のみなさんの声と力を結集し、自然と環境の保全と活用という今の世の中が求める、歴史的な課題を実現させていくために共に語り合おうではありませんか。

ぜひ、ご参集下さい!

関西自然保護機構（KONC） 和泉市へ要望書を提出

1978年の設立以来、シンポジウム、会誌の発行、研究助成など関西地域を基盤に幅広く活動している関西自然保護機構が、11月10日、昨年のシンポジウム「信太山丘陵の保全と活用」の報告集（関西自然保護機構機関誌32号）の贈呈と信太山地域の自然環境とその恵みを将来に引き継ぐために回復不可能な開発と放置による劣化を予防する見地からの要望書を和泉市長に提出した。



会談の様子（10・11・10）

KONC：石井 実(大阪府立大学) 野寄玲児(神戸女学院大学) 大久保その子 花田茂義(FAN)
市側：辻 宏康市長 飯坂俊明副市長 木下俊次環境監 庄司忠久政策企画室長

石井 実先生より昨年のシンポでの出席に対する謝辞とシンポの報告「KONC機関誌」と石井先生の著書の贈呈があり、以下の主旨説明があった。

「COP10では、政府は世界に向かってSATOYAMAイニシアチブを発信した。これは、日本の里地里山のような、持続的に資源を利用しながら、人との関わりの中で維持されてきた二次的な自然が、生物多様性の保全にも重要であることをアピールしたもので、これに会わせて、環境省は日本国土の約4割を占めるとされる里地里山の保全と活用を、農林省、文化庁、国土省などとともに検討してきた。私も委員として参画し、9月に、里地・里山の保全活用の取り組みを全国各地で国民的運動として展開するという行動計画を発表した。信太山は歴史の偶然の中で奇跡的に残

された湿地の自然を特徴とする里地・里山の環境。関西自然保護機構も協力を惜しまないので全国の里地・里山保全のモデルとなるよう、和泉市もぜひこの信太山丘陵の貴重な自然の保全に取り組んでいただきたい」

- * 市長は「信太山丘陵の大切さは理解している。調査も進めている。ただ、スポーツ施設を建設するという今までの経過もあり、100%自然の保全をというわけにはいかないと考えている。市民の要望もふまえながら保全のことも十分検討したい。」と回答した。
- * 野寄先生は、「湿地の部分のみを残しても保全にはならない」と指摘された。また、和泉市の信太山近くで少年時代を過ごし、辻市長と同級生だったことを明かし、市長も気がつきお互いに旧交を温める話が続いた。
- * 約束の15分があつという間に過ぎ、市長は「しっかりやりますよ」と云い、石井先生は「できる限りの協力をしたい」と云い、握手して会談は終わった。

要望内容

1. 信太山の和泉市市有地に生息する生物の現況及びその生息環境について、2009年から2010年の調査をさらに継続して調査を行うこと。その上で、研究者等へのヒアリングを行い、信太山市有地の自然環境の保全に必要な施策について早急に検討・協議していただくこと。
2. 現在、草地や湿地から森林へと遷移しつつあるために、ヤマトホシクサやミミカキグサをはじめ、明るい貧栄養湿地環境を必要とする植物群や、そこをすみかとする動物などにとり、危機的な状況となっていることから、草地や湿地環境をどのように将来的に維持管理すべきなのか、中長期の事案と今後数年内に緊急に行うべき事案とに区分して、研究者らとともに保全方針を早急に策定いただくこと。
3. 現在保全策が行われている惣ヶ池湿地および自衛隊所有地、聖神社の神社林、大阪市立信太山青少年野外活動センターなど、周辺の緑地や溜め池群と一体的に地域生態系の保全を目指し、関係機関との協議をしていただくこと。
4. 市民並びに行政内部において、信太山の生物多様性保全上の価値や重要性について積極的に広報し、保全への協力を呼びかけていただくこと。